

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	新川承水路及び調整池整備事業			会計	款	項目	大	小
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	河川課				
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備	主管課長	中西 辰夫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	新川承水路沿線の市民	意図	近年多発しているゲリラ豪雨に起因し、承水路からの溢水による道路冠水を防ぐ。
事業内容	・新川耕地の土地利用計画の変遷に伴い地区計画として調整池の設置と新川承水路の改修を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	・新川耕地では、近年埋め立て事業等の影響により円滑な排水処理が困難となってきた。 ・物流施設開発においては、地区計画により浸水対策の協議が行われ、調整池の築造と新川承水路の改修に着手した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	地区計画調整池設置数	0	0	0	箇所	↑↑↑
②	新川承水路改修整備率	0	0	19.50	%	↑↑↑	整備済み延長/全線1,280m
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	開発事業者との協議において整備されることとなる調整池と承水路の改修	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発協議により平方北部と平方・中野久木の2つの開発行為において調整池の築造と承水路の改修が行われることとなった。</li> <li>流山IC北部物流施設建設において承水路250mの改修が完了した。</li> </ul>
--------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	--

  

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	6,401,700	205,950	335,600
事業費(b)(円)	5,724,000		
うち一般財源	5,724,000		
職員給与費(c)(円)	677,700	205,950	335,600
人役・職員(人)	0.09	0.03	0.05
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各開発事業者が行う調整池と承水路改修の役割分担と工程調整を行う。</li> <li>残る地区の開発協議を進める。</li> </ul>	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>各開発事業者同士の合意形成。</li> <li>市道幅と隣接する承水路改修を調整する。</li> </ul>
②今年度(H29)に実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>各開発事業者との施工協議と工程を実施した。</li> <li>残る地区の開発予定者との事前排水協議を実施した。</li> </ul>	④今後(H30以降)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>着手済みの工区と今後着手する工区の事業間調整を行う。</li> <li>残る地区の排水合意に協力する。</li> </ul>